

2024年4月4日作成 Ver.2

《情報公開文書》

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する機能温存腹腔鏡手術後の血中 AMH 値の変化に影響
を与える因子に関する研究

研究の概要

【背景】

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する嚢胞摘出術や嚢胞焼灼術などの機能温存手術は術後の卵巣機能へ影響を与える可能性があります。この影響の程度は手術の方法や臨床背景などにより異なり、さらに手術後の時期により卵巣機能が変化する可能性が指摘されています。卵巣機能を評価する指標として血中 AMH（抗ミュラー管ホルモン）値があり、卵巣子宮内膜症性嚢胞手術の前と後の卵巣機能の評価に有用であるとされています。しかし、術後の血中 AMH 値の変化の程度と長期的な推移に影響する因子は明らかではありません。

【目的】

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する外科処置後の血中 AMH 値の変化や長期的な推移に影響する因子を明らかにすることを目的とします。

【意義】

年齢や子宮内膜症の重症度、術前の卵巣機能などの背景から、患者さん毎に卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する外科処置が卵巣機能へ与える影響を予測し、手術療法を選択することによる利益と不利益から治療方法の選択へ寄与する可能性があります。また、手術療法を選択する場合の術式、妊娠を希望される方では術後の卵巣機能の変化に合わせた不妊治療法が選択できる可能性があります。

【方法】

産婦人科で腹腔鏡手術を施行した卵巣子宮内膜症性嚢胞例について、臨床背景、術式、術前の血中 AMH 値、術後 12 カ月までの血中 AMH 値の推移などの情報を電子カルテから収集します。収集した情報をもとに手術前後の血中 AMH 値の変化を算出し、臨床背景との術後の卵巣機能の関連を検討します。

対象となる患者さん

2012年4月1日から2021年3月31日までに卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する機能温存腹腔鏡手術を受け、卵巣機能の評価として手術前に血中 AMH 値を測定し、術後 12 カ月の間に 1 回以上血中 AMH 値を測定した患者さん

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- 性別、年齢、妊娠分娩歴、既往歴、既往手術歴、不妊症の有無、子宮内膜症に治療歴
- 月経困難症の有無、慢性骨盤痛の有無
- 血中 AMH（抗ミュラー管ホルモン）値（術前および術後 1・3・6・9・12 カ月）
- 画像検査（経膈超音波検査、骨盤 MRI 検査）：卵巢子宮内膜症性嚢胞の嚢胞径、嚢胞の局在（片側性、両側性）、子宮筋腫や子宮腺筋症の合併の有無
- 卵巢子宮内膜症性嚢胞の再発の有無
- 手術所見：術式、手術時間、出血量、合併症の有無、ASRM 分類（子宮内膜症スコアリングシステム）
- 子宮内膜症に対する術前後の内分泌療法（低用量エストロゲン・プロゲスチン配合剤、黄体ホルモン剤、GnRH アゴニスト・アンタゴニスト製剤）の使用の有無、使用期間

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2024 年 4 月 11 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。
ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。
あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2024年12月31日

研究実施体制

研究責任者

所属：長崎大学病院 産婦人科
氏名：三浦 清徳
住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1
電話：095 (819) 7363

情報の管理責任者

長崎大学病院 病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院 産婦人科 梶村慈

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号

電話：095（819）7363 FAX 095（819）7365

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）